

## 日興ブラジル株式ファンド (愛称：情熱の国)

## ファンドの概要

設定日 2009年12月21日  
 信託期間 2019年9月24日まで  
 決算日 毎年9月24日  
 (休業日の場合は翌営業日)

## ファンドの特色

1. 南米最大級の経済規模を誇るブラジルの株式※に投資します。  
※DR(預託証券)なども含みます。
2. 大型株式だけでなく、中小型株式などを含めた幅広い投資対象から組入銘柄を選定します。
3. ブラジル株式の運用で実績のあるフランクリン・テンプルトン・インベストメンツ(ブラジル)が運用を担当します。

※当レポートでは基準価額および分配金を1万円当たりで表示しています。  
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。  
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

## &lt;分配金込み基準価額の推移&gt;



基準価額 : 7,732円

純資産総額 : 126.42億円

## &lt;基準価額の騰落率&gt;

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-5.85%	1.66%	2.75%	-17.87%	-	-22.68%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。

## &lt;分配金実績(税引前)&gt;

設定来合計	10・9・24	11・9・26			
0円	0円	0円			

※上記は過去のものであり、将来の収益分配を約束するものではありません。

※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。

※分配金込み基準価額は、信託報酬(年率1.764%(税抜1.68%))控除後の値です。

## &lt;資産構成比&gt;

株式	比率
うち先物	0.0%
現金その他	3.8%
	96.2%

※マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、対純資産総額比です。

## &lt;株式組入上位5業種&gt;

業種	比率
1 素材	22.3%
2 エネルギー	12.1%
3 銀行	10.7%
4 運輸	8.1%
5 耐久消費財・アパレル	7.6%

※マザーファンドの状況です。

※比率は対組入株式時価総額比です。

## &lt;株式組入上位10銘柄&gt; (銘柄数 45銘柄)

	銘柄	通貨	業種	比率
1	VALE SA-PREF A	ブラジルリアル	素材	9.97%
2	ITAU UNIBANCO HOLDING SA	ブラジルリアル	銀行	5.93%
3	PETROBRAS - PETROLEO BRAS-PR	ブラジルリアル	エネルギー	5.47%
4	GERDAU SA-PREF	ブラジルリアル	素材	4.47%
5	ECORODOVIAS INFRA E LOG SA	ブラジルリアル	運輸	4.41%
6	OGX PETROLEO E GAS PARTICIPA	ブラジルリアル	エネルギー	3.80%
7	BANCO DO BRASIL S.A.	ブラジルリアル	銀行	3.73%
8	SANTOS BRASIL PARTICIPACOES	ブラジルリアル	運輸	3.50%
9	CETIP SA-MERCADOS ORGANIZADO	ブラジルリアル	各種金融	3.18%
10	BRF - BRASIL FOODS SA	ブラジルリアル	食品・飲料・タバコ	2.89%

※マザーファンドの状況です。比率は対純資産総額比です。

※個別銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組み入れを保証するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## &lt;株式通貨別構成比&gt;

通貨	比率
ブラジルレアル	94.6%
その他通貨	5.4%

※マザーファンドの状況です。比率は対組入株式時価総額比です。  
 ※ブラジルレアル以外の通貨建てで発行されている上場株式およびDR（預託証券）等に投資する場合があります。

## &lt;基準価額騰落の要因分解（月次）&gt;

前月末基準価額		8,212円	
要 因	株 式	ブラジル株式	-146円
		その他株式等	0円
	為 替	ブラジルレアル	-318円
		その他通貨	-6円
分配金・その他		-10円	
当月末基準価額		7,732円	

※為替は現金も含めて算出しています。  
 ※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。  
 ※上記の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

## &lt;ご参考情報 為替推移(円/ブラジルレアル)&gt;



※信頼できると判断した情報をもとに  
 日興アセットマネジメントが作成

## 運 用 コ メ ン ト

## ◎当月の投資環境

当月は、世界の株式市場は下落しました。欧州債務問題の不透明感が強まり投資家のリスク選好が後退したことなどから、欧州株式市場は下落しました。米国株式市場は、発表された経済指標が強弱混合した内容であったことから、ほぼ横ばいの展開となりました。

ブラジル株式市場は、経済指標が景気の減速が進行していることを示す内容となったことを受け、下落しました。業種別にみると、電気通信サービスや公益事業といった配当利回りが良好で内需の牽引役に関連した業種が堅調な推移となりました。一方、エネルギーや利ざやの縮小に向けた政府の政策に大きく悪影響を受けた金融などが低迷しました。

## ◎市場見通し及び投資戦略

ユーロ圏諸国の中でも財政基盤の弱い国々が、数カ月前に合意に至った財政引締め策を遵守するにあたり、大きな困難に直面するのではないかと懸念が、投資家心理を再び冷え込ませています。財政赤字削減目標を達成した場合、緊縮財政政策により、イタリアやスペインといった主要国において、既に懸念されている経済情勢や成長見通しに、さらなる重石になる可能性があると考えられます。一方、財政赤字削減目標の達成に失敗した場合には、ユーロ圏の崩壊もしくは加盟国に対する欧州安定メカニズム (ESM) による救済が余儀なくされる状況になると思われます。また、米国に目を向けると、2012年1-3月期のGDP成長率が期待外れな結果となりました。個人消費と民間国内投資はプラスの伸びとなったものの、減少となった連邦政府支出の大幅な削減を埋め合わせるには至りませんでした。雇用統計も市場予想を下回る雇用者数の伸びに終わるなど、経済成長が鈍化しているという見方を裏付けるものとなっています。

ブラジル経済に関しては、ブラジル中央銀行が発表した2月の経済活動指数が前月比マイナスとなり、市場予想の通り景気の減速を示す内容となりました。これまで着実に拡大してきた小売部門が前月比減少となったことは注目に値すると思われれます。インフレについてはブラジル中央銀行の目標水準に留まることが予想されます。このような状況の下、広く予想されていた通り、ブラジル中央銀行は金融政策委員会において政策金利を0.75%引き下げ、9.00%としました。しかし、同委員会の議事録には国内および海外の経済情勢によっては景気支援のための金融政策を実施する可能性の内容が織り込まれました。これは、政策金利は過去最低水準である8.75%をやや上回る緩和的な水準にあるべきとするこれまでのブラジル中央銀行の方針とは異なるものでした。そのため、市場ではさらなる利下げの可能性があると予想されています。一方、ブラジル政府は、政府系金融機関に対して貸出金利の引き下げを指示しました。これは、世界でも最も高い水準にあるとされている最終消費者の借入コストの負担を軽減し、経済活動を促進するための効果的な試みであると思われれます。

投資戦略に関しては、引き続きブラジル国内により注目し、資本財・サービス、ヘルスケア、金融といった内需関連業種に対して積極姿勢で臨むことを検討します。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## ■お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信／海外／株式  
 お申込単位 : (新規申込) 10万円以上1円単位 (追加申込) 1万円以上1円単位  
 ※別に定める場合はこの限りではありません。
- お申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額  
 お申込不可日 : 取得申込日がサンパウロ証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。  
 詳しくは、SMB C日興証券にお問い合わせください。
- 信託期間 : 2019年9月24日まで(2009年12月21日設定)  
 決算日 : 毎年9月24日(休業日の場合は翌営業日)  
 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。  
 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。  
 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  
 ※収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。再投資を停止し、分配金のお受取りをご希望される場合はお申し出ください。分配金のお受取りをご希望される場合、SMB C日興証券の定める所定の日よりお支払いいたします。
- ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額  
 ご換金不可日 : 換金請求日がサンパウロ証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。  
 詳しくは、SMB C日興証券にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。  
 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。  
 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- お申込手数料 : お申込手数料率は、お申込金額に応じて、以下のようになります。
- |             |                   |            |                   |
|-------------|-------------------|------------|-------------------|
| 1億円未満       | 3.6750% (税抜3.50%) | 1億円以上5億円未満 | 2.1000% (税抜2.00%) |
| 5億円以上10億円未満 | 1.0500% (税抜1.00%) | 10億円以上     | 0.7875% (税抜0.75%) |
- ※別に定める場合はこの限りではありません。
- 換金手数料 : ありません。
- 信託財産留保額 : 換金時の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額  
 <信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>
- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.764% (税抜1.68%) を乗じて得た額
- その他費用 : 目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%以内を乗じて得た額が信託財産から支払われます。  
 組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.525 (税抜0.5) を乗じて得た額) などについては、その都度、信託財産から支払われます。  
 ※組入る有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様ที่ファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ■委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社  
 投資顧問会社 : フランクリン・テンプレトン・インベストメンツ(ブラジル)  
 受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)  
 販売会社 : SMB C日興証券株式会社

## ■お申込みに際しての留意事項

## ○リスク情報

投資者の皆様が投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様が帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

## 価格変動リスク

- 株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- 新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

**流動性リスク**

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

**信用リスク**

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

**為替変動リスク**

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

**カントリー・リスク**

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

**○その他の留意事項**

- ・当資料は、投資家の皆様に「日興ブラジル株式ファンド（愛称：情熱の国）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は **日興アセットマネジメント株式会社**  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
 加入協会：社団法人投資信託協会  
 社団法人日本証券投資顧問業協会

**お申込みは**

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○